

# 『輪状甲状靱帯穿刺の安全性と有用性に関する 全国調査』について

## ➤ 研究（調査）の目的と概略

気管食道科領域の日常診療で輪状甲状靱帯穿刺が広く行われていますが、これまで全国的な調査はほとんど行われておりません。今回の全国調査で輪状甲状靱帯穿刺の安全性、有用性を検証し、今後診療に役立てます。

## ➤ 研究（調査）の方法

2010年1月1日から2021年12月31日までに輪状甲状靱帯穿刺を行なった患者さんを対象に、所見や診療経過のデータを解析するものです。収集されているデータは個人が特定できないように匿名化して管理され、個人情報保護をします。

## ➤ 研究（調査）の参加施設

日本気管食道科学会認定専門医研修施設 および食道外科専門医認定施設

## ➤ 調査期間

2022年6月1日～2024年12月31日

## ➤ 調査の対象となる患者さんへ

本研究は個人情報を除いたカルテデータを用いた臨床研究であり、新たな負担や不利益は一切ありません。

## ➤ この調査への協力は任意です。

調査への協力に同意されなくても、患者さんに不利になることは一切ありません。また、調査に協力することを同意した後でも、いつでも撤回することができますし、そのために不利益を被ることもありません。データの使用をお断りになる場合には直ちに本研究の対象から除外しますので、ご遠慮なくお申し出ください。

## ➤ お問い合わせ先

この研究は、日本気管食道科学会臨床研究委員会が研究事務局を担当しています。  
研究責任者：竹内裕也（浜松医科大学 外科学第二講座）

お問い合わせ先

特定非営利活動法人日本気管食道科学会 事務局  
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-11 陽臨堂ビル2F  
E-mail : [jbes@kishoku.jp](mailto:jbes@kishoku.jp)